授業科目 母性看護学概論	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前 / 後 1年次/後期
講義のねらい	1　母性看護の対象を理解し、母性看護の意義と役割について理解する。 2　女性を取り巻く社会の現状を理解し、制度の活用や法律と関連して母性看護を学ぶ。 3　母性保健活動を通して母性の健康保持・増進への援助について学ぶ。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	1　母性看護の概念 1）母性看護の基盤となる概念 2）母性看護の対象 3）母性看護における倫理 4）母性看護に関する組織と施策と法律 2　人間の性と生殖 1）人間の性と生殖 2）人の発生と遺伝的要素 3　母性看護の変遷と展望 1）母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 4　女性のライフサイクル各期における看護 1）ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2）ライフサイクル各期にまたがる健康問題と看護 5　母性看護と生命倫理 1）母性看護における倫理 〈教育方法〉 母性をとりまく現状の課題（「人工妊娠中絶」「出生前診断」など）についてグループワークを行う。			
教科書	系統看護学講座　専門分野　母性看護学１　母性看護学概論　（医学書院）			
参考文献	3　必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	終講試験　100 点（グループワーク点を含む）			
備考欄	・解剖生理学、生物学、小児看護学概論が終了していること。 ・この授業では個人の考えやグループ間での意見交換を積極的に行っていくこと。 ・教員とのコンタクトは授業終了後または終講後に案内する。			